

自ら学ぶ生徒  
思いやりのある生徒  
健康で働く生徒

# 師弟一如

稲田中学校だより NO. 15  
平成 28 年 12 月 1 日  
発行人 校長 八木沼孝夫

## 12月にないました ～2学期のまとめをしよう～

今日から12月に入りました。月日が経過するのは本当に早いもので、1年の最後の月になり、学校の先生方も忙しくなり、まさに「師走」です。

この2学期は1年間で一番長い学期でした。秋華祭や松明あかしなどの大きな行事や、中体連新人大会・各種大会、そして毎日の授業や学校生活の中で大きく成長することができました。そんな2学期を振り返り、自分自身で評価するための学級活動が行われますが、各自しっかりと反省して、新年及び3学期の目標・抱負を立ててほしいと思います。



秋華祭



松明あかし



中体連新人大会



期末テスト

## ～3年生、受験に向けて頑張れ～

いよいよ3年生にとって受験にむけての取組が本格化してきました。受験校がほぼ確定し、年内に受験をする生徒もいます。また私立高校の推薦について話し合いを行ったり、県立I期選抜を希望する人は、志願理由書の準備や面接の練習をしたり、中にはプレゼンや実技の練習に取り掛からなければならぬ人もいます。

先日、3年生は学年集会を開き、学年全体で受験にむけて雰囲気をよくして、3年生全員が一丸となって受験をがんばろうと確認をしました。現在3年生は放課後学校に残って、学習会を行っています。

本校教職員も、3年生一人一人の進路実現を全力で支援していきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご協力をお願いするとともに、何かありましたらお気軽にご相談下さい



## ネット・SNS等の危険性

11月21日(月)に岩瀬地区小中学校・警察連絡協議会が行われ、本校からも校長と生徒指導主事が参加しました。

その場で大きな話題になったのは、インターネットやSNS等でのいじめ、家出、性被害が年々増加して、大きな問題になっているということでした。

本校でも、生徒のスマホ・タブレット・通信機能付きゲーム機等の所持率は高く、それらを利用している時間も非常に多いという実態があり、大きな課題になっています。またSNS等でのトラブルも何件がありました。

「わが子は大丈夫!」と思っているご家庭も多いかと思いますが、私たち大人の予想以上に子ども達のネット利用やSNS等でのコミュニケーションは大きな広がりを見せています。

福島県教育センターの情報教育チームの方が子ども達に次の7点を指導してほしいとのことでしたので、紹介させていただきます。

- ① ネットの使用時間などを知ることも大事であるが、子どもがSNS等で何をしているかをしっかりと把握する必要がある。アプリの、写真袋、写真カプセル、ツイキャス、福島県の全部の学校の子が行っている。
- ② インターネットは、年齢、性別、性格もいつわられる空間であることを教えることが必要である。
- ③ ネットに上げたふさわしくない、写真や情報は、デジタルタトゥーと言われ、一生消せないものである。拡散し、自分の足跡が残り、全てあなたがインプットした情報は、あなたにたどり着く。その全ての情報はあなたの人としての情報となり、第三者が調べることができるものとなる。
- ④ SNSではなくても、ゲーム機の中でも危険は十分ある。
- ⑤ 児童生徒は、スマホ等の画面だけを見ているが、そのネットの内容は世界中、全世界の人が見ている。
- ⑥ ネットのトラブルは、ネットでは解決できない。
- ⑦ ネットのトラブルは、人を自殺にまで追い込むこともある。



## Mimi's Family来校

11月22日(火)、本校ALTミミ先生のご両親が来校され、1日滞在して、英語の授業や給食の時に生徒と交流していただきました。

また11月28日(月)にはミミ先生の弟であるビビアン君が来校して、日本の学校を1日体験入学しました。

生徒にとっては、生きた英語に接することができるのと同時に、お互い会話があまり通じなくても、伝えようとする気持ちがあれば、コミュニケーションが取れることが分かって、良い経験となりました。



ミミ先生のご両親(左)と弟のビビアン君(右)

## 5年8カ月前の教訓を

11月22日(火)午前5時59分に福島県沖を震源とするM7.4の地震が発生し、須賀川市では震度5弱を観測しました。福島県と宮城県の海岸には津波警報が発令され、5年8か月前の東日本大震災を思い出した人も多かったかと思えます。

本校では、2か所の防火扉が作動したり、図書室の本がいくつか落下したりしましたが、大きな被害はありませんでした。

「災害は忘れたことにやってくる」とよく言われますが、普段から地震や災害等が発生した場合のことを想定しておくことが大切です。

大きな地震が発生したら、まずは「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して身を寄せ安全を確保し、揺れが収まったら、避難場所に避難をすることが大切です。

しかし、地震は学校にいるときに発生するとは限りません。登下校途中や自宅にいる時かもしれません。常日頃から「自分の身は自分で守る」の考えのもと、主体的に自分で判断し行動できるようにしてほしいと思います。

各ご家庭で災害が発生した時の安否確認の仕方や避難場所の確認など防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。



## 小中一貫教育コーナー

### ○工事現場で…ちょっといい話

中学校の体育館の窓に、あるメッセージが掲げられました。生徒会役員のメンバーが、工事現場で働く作業員の方々へ御礼のメッセージを伝えようと、自主的に掲示しました。前は旧生徒会役員が直接お礼の言葉を述べさせていただきましたが、生徒会役員もがんばっています。

工事現場責任者さんは「長年いろいろな工事に携わっているが、こんなにうれしいことは初めてです。」と感激していました。



体育館の掲示されたメッセージ

このような素敵な中学生の姿は、小学生のよい手本であり、稲田地区の誇りでもあると思います。こんな児童生徒が一人でも多く育つように、今後も小学校とともに小中一貫教育を推進してまいります。

### ○教育講演会 小中一貫教育の意義

11月24日(木)須賀川市文化センターにおいて須賀川市教育講演会が行われ、本市の小中一貫教育アドバイザーでもある青森中央学院大学教授の高橋興先生が「小中一貫教育の意義とその課題」と題して、市内の教職員と保護者を前に講演を行いました。

その中で、小中一貫教育の成果として「生徒指導上の成果」「学習指導上の成果」「教職員の意識改革」があげられるが、最大の成果は小中の教職員が互いの教育を理解し合い、一丸となって9年間、子どもの教育にあたることだと言っていました。

本中学校区でも同じような成果が見られています。今後は地域の協力を得ながら、小中一貫教育の更なる推進を図って参ります。



高橋興先生の講演会

日	曜	12月の主な行事	日	曜	12月の主な行事
3	土	愛護育成会作品展(～4日・牡丹会館) 数学検定	12	月	Ⅲ期時間割開始 計算コンテスト 給食費集金日
5	月	専門委員会	13	火	小中一貫地域運営協議会
8	木	1年ムシテック学習 弁当持参日	14	水	稲田地区学校保健委員会 諸会費集金日
9	金	授業参観・教育講演会 PTA選考委	15	木	諸会費集金日
		アンサンブルコンテスト県南支部大会(～9日)	21	水	1・2年実力テスト
		地区造形展(～12日・牡丹会館)	22	木	2学期終業式 給食あり
			28	水	仕事納め



稲田中学校ホームページ [http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=202](http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=202)  
←左QRコードからでもご覧になれます。